

PCM吹付け工法

(湿式吹付け工法・乾式吹付け工法)

吹付床版下面増厚工法 NETIS登録番号：KK-980085-A
 ポリマーセメント系乾式吹付けモルタル NETIS登録番号：KK-110042-A

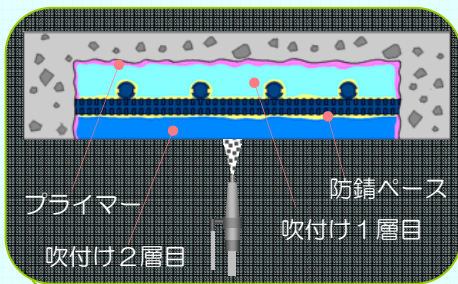
吹付け工法は、型枠が不要で且つ設備が小規模であることにより、施工場所の制約も受けにくく迅速な施工が特徴の工法です。

湿式吹付け工法

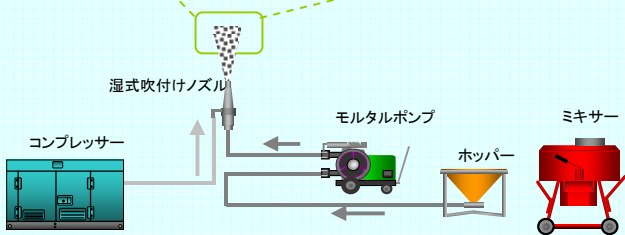
湿式吹付け工法は、あらかじめ所定の水量で練り上がった断面修復材をポンプによって圧送し、先端ノズル位置で空気の圧力により吹き付ける工法です。

■特徴

1. リバウンド量・粉じん量が少ない。
2. 施工設備が小規模。
3. 作業性が良く、コテ仕上げを併用することができる。



システム例

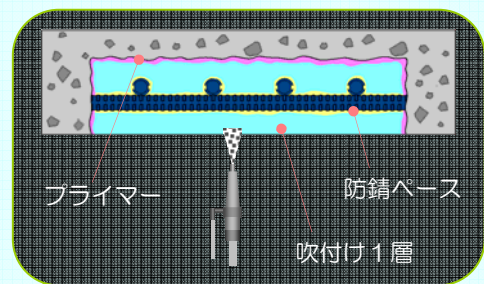


乾式吹付け工法 (リフレドライショット)

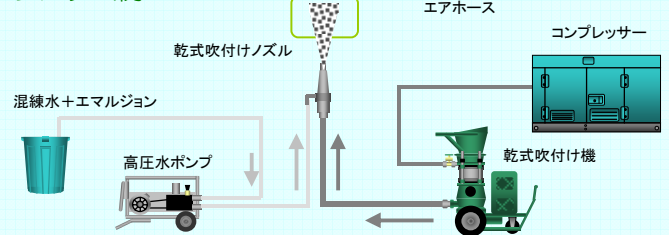
乾式吹付け工法は、断面修復材を圧縮空気により圧送し、吹付けノズル部分にて水+エマルジョンを添加し吹付ける工法です。

■特長

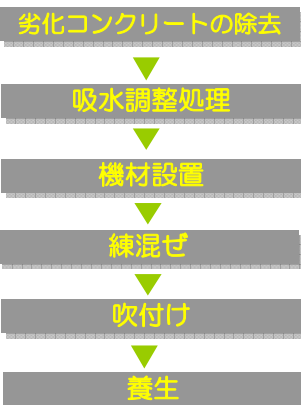
1. 湿式に比べ圧送距離が長い。
2. 施工能力が高く、施工速度が速い。
3. 初期強度の発現性に優れ、振動下における施工に優れている。



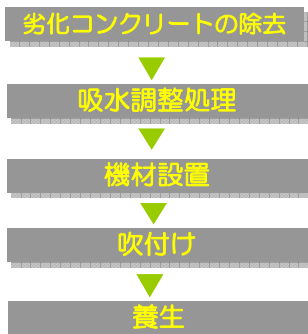
システム例



施工フロー (湿式の場合)



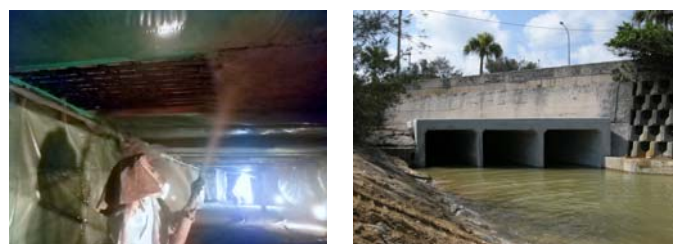
施工フロー (乾式の場合)



施工事例



湿式吹付け状況



乾式吹付け状況 (リフレドライショット)